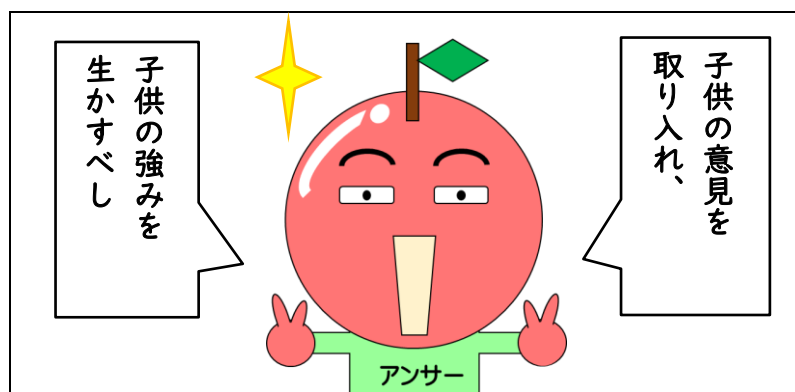
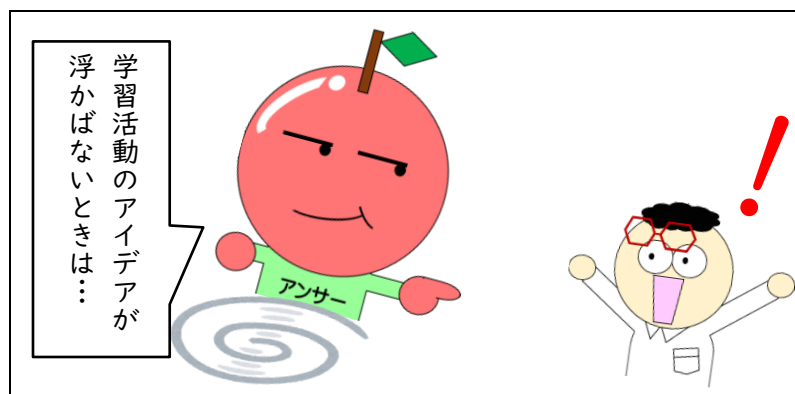


Q5. 生活単元学習で行事単元を計画しているのですが、どのような学習活動がよいのか分かりません。

※ある知的障害特別支援学級にて



子供の意見を取り入れる／子供の強みを生かす

- 当該の単元においてどんな活動をするか学級で話し合ってみて、可能な範囲で子供の意見を単元計画に組み込みます。
- 子供の興味・関心や得意なことなど、強みを生かす視点を大事にします。

4コマの例のように、運動会等の行事をテーマにした単元は、どうしても「活動ありき」になりがちです。また、教師主導で進めると活動のバリエーションも限られてしまいます。そこで、単元の初めに、どんな活動をするか学級で話し合ってみましょう。運動会や学習発表会等の学校行事に対して、子供たちは「去年は悔しい思いをしたから、今年はもっと頑張りたい。」など、様々な思いを抱いているはず。その思いを引き出し、可能な範囲で単元計画に組み込むことで、主体的に取り組む姿を実現していくことが重要です。

例：単元「運動会を盛り上げよう」を再考する

①今年度の児童の実態

前年度の運動会についてあまり良い思い出がないことから、4月当初から「運動会に出たくないなあ。」という児童がほとんどであった。

②学級担任の願い

本単元での学習活動を通して、運動会への参加意欲を高めたい。そして、主体的に運動会に参加することで、達成感や成就感を感じてほしいと考えた。

③指導内容の検討

初めに、運動会を盛り上げるために、自分たちにできることがないか話し合った。ある児童から「街のイベントみたいに学校の周りに“のぼり”を立てたらいいんじゃない!?”という意見が出され、一同「いいね!」と賛同した。イラストを描くのが得意な児童もいるので、実現可能であると考え、学習活動を以下のように計画した。

本単元の学習活動	各教科等の内容
運動会担当の先生や校長先生に「のぼり制作・設置」の許可をもらいに行く	・【自立活動】他者への依頼の仕方を知る ・【国語】適切な話し方を身に付ける
のぼりのデザインを考える	・【生活】自分が住む町のいろいろな商店の様子に関心をもち、自分の生活との関連について知る ・【図画工作】様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかく
のぼりを制作する	・【算数】長さの測定と意味について理解する ・【自立活動】手順どおり集中して作業する

※表の「各教科等の内容」はあくまでもイメージです。実際には、編成している教育課程における具体的な各教科の内容で考えます。

【文献】文部科学省（2018）：特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）。

よく一緒に読まれている Q

Q4 「生活単元学習では、学習活動がマンネリ化しがちです…」

Q13 「子供の苦手な活動に取り組むとき、参加意欲を高めるためにはどのような工夫をすればよいのでしょうか？」

[目次に戻る](#)